

昭和58年

広報

5月号

No.327

おおす

市民のうごき

昭和58年3月末現在

人口	39,540人	(-303)
男	18,881人	(-143)
女	20,659人	(-160)
世帯数	12,180世帯	(-72)
面積	240.93平方キロメートル	

昭和58年5月1日発行

発行 大洲市役所

編集：市長公室



早春の肱川で「かじかせり」

大洲の伝統産業

④ 鰻（かじか）せり

江戸時代の文献に、伊予の国では、長浜の夕コとともに、大洲の石伏（いしぶせ）が全国的な名産品として紹介されています。石伏とは鰻のことです。

清流を好む小魚の鰻は、古くから大洲の名産品として親しまれています。漁法は、早い時期はせり板で追い込む方法を、また四月以降はさざえの貝殻に縄を通して連ねたもので四つ手綱に追い込む二種類があります。

漁獲した鰻は、竹の串に刺し炭火で焼き、賞味します。酒の肴にまた、吸い物、みそ汁、卵とじなどにして食卓で楽しめる大洲の味です。

写真は、伝統的漁法のせり板でかじかを取る八多喜・岩津地区の田中敏克さん夫婦。

5月号目次

3月定例市議会	2・3頁
58年度当初予算	4・5頁
58年度市職員異動	6頁
健康と医療を考える①	7頁
消防出初め式	8頁
同和教育シリーズ	9頁
市民のひろば	10頁
カメラスケッチ	11頁

今月の納税

▶ 軽自動車税(全期)

納期は
5月31日

3月定例会市議会

新しい時代に対応する施策を

58年度当初は抑制型予算に



提案理由を説明する近田市長

第七十七回三月定例会市議会は、三月八日から十九日までの十二日間の会期で開かれました。

今議会では、昭和五十八年度当初予算案件十三件、昭和五十七年度補正予算案件六件、条例関係八件、人事案件二件、その他五件の計三十四議案と請願一件、陳情四件が提出され、議案については、それぞれ原案のとおり可決されました。

近田市長は、開会日に昭和五十八年度の施政方針、予算編成方針などについて説明を行いました。

施政方針

大洲市長
近田 宣秋

昭和五十八年度の市政を推進するにあたり、その基本方針をご説明申し上げます。

私は市政を担当以来、地域の連帯を軸として、豊かで活力ある住みよい地域社会をめざし、全力を

あげて市政の推進に努力してまいりました。幸いにして、みなさんのご理解とご協力をいただき着実に前進をみています。

国の内外において、経済的・社会的環境はまことに厳しく、困難の度を加えつつあります。まさに私達は歴史的な選択と転換の時を迎えています。

国におきましても、新しい時代に対応すべく行財政の改革を最重要課題として臨時行政調査会の最終答申案が提出されました。したがって、行政改革、財政再建に対する国の対応もより具体的かつ厳しいものになることが予想されます。

昭和五十八年度予算における国の対応は、地方の行財政に及ぼす影響も少なからぬものがあり、また、経済不況下において財源確保が困難であり、行政をとりまく環境は一段と困難な状況となっております。こうした流れの中で、地方自治体が社会変化と住民の要請に対応して効率的な行政を推進するためには、従来からの惰性にとら

われることなく、有効適切な施策を勇断をもって推進しなければなりません。

私は、国、県の動向に十分な注意を払いつつ現在までの実績をふまえ、的確な政策の選択と市民参加を基本としつつ、次の事項を柱とし、市政の推進に全力を傾注してゆく所存であります。

- 1、行財政の合理化と施策の重点的推進
- 2、肱川流域における拠点的城市機能の充実
- 3、地域特性と伝統をふまえた個性的な地域産業の形成
- 4、住みよい生活環境の整備
- 5、健康であたたかい市民福祉の充実
- 6、地域にわがした教育の充実と文化の向上

ますます増大、多様化する行政需要に適切に対応していくことは、私に課せられた緊急な責務であります。このためには、従前にもまして、行財政の見直しなどの体質改善を積極的に行い、効率的行政運営のための努力を続けてまいります。

庁舎建設について

庁舎の建設は、昨年十一月着工以来おおむね計画通りの進展をみています。また、現在、市庁舎が分散し、みなさんには大変ご不便をおかけしていますが、現在の

条件下においてサービスの低下を最少限にとどめるべく努力をいたしていますので、ご協力をお願いいたします。

市庁舎の完成は一つの転機でありますから、この機会に業務執行の方法などを中心に根本的な見直しを行い、可能な限り効率化をはかるため、現在、部内の事務改善委員会に検討を指示しています。

当初予算

国の昭和五十八年度予算案は、国民生活の安定、経済発展基盤の強化、行政改革の推進などを柱としつつ、基本的には予算規模を昨年度以下にするという抑制型予算の編成が行われました。一方、地方の財政計画も同様の原則のもとに策定され、本市の財政環境も極めて厳しいものがあります。

したがって、私は、国県と一層緊密な連携を保ちつつ財源の確保をはかるとともに、健全な財政運用に努めてまいります。さらに、地域経済の活性化と市民生活の安定向上を維持発展させる有効な政策展開をはかるべく、財源配分に慎重な配慮を加えてまいります。

当初予算の規模は、総額で百二十六億八千二百六十八万円（対前年比十五・五%増）となります。

昭和五十八年度の市政運営に対する所信の一端を申しあげ、みなさんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

条例関係

大洲市立南久米小学校屋内運動場建設委員会条例

南久米小学校に屋内運動場を建設することになり、執行機関の附属機関としての委員会を設置するものです。

大洲市国民宿舎条例の一部改正

国民宿舎利用料基準の改定にともない現行料金を改定し、国民宿舎の健全な経営を図るために行うものです。

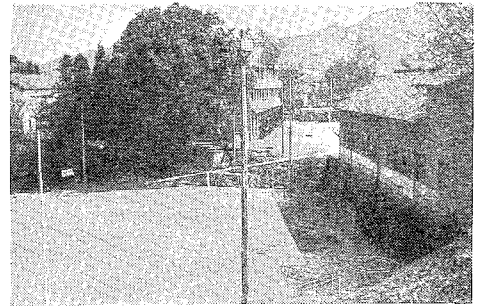
新しい料金は次のとおりです。
1、宿泊料金(一人につき)

区分	利用者	宿泊料	朝食料	夕食料
		大 人	2,600円	800円
小学校児童		2,100円	800円	1,400円
幼 児		1,000円	実 費	実 費

2、冷暖房料金(宿泊利用者)

・冷房料金 個室広間とも二百円
・暖房料金 個室広間とも二百円
大洲市立中学校校舎建設委員会条例の一部改正

大洲市立平野中学校校舎の建設



屋内運動場が建設される南久米小学校

人事案件

公平委員会委員の選任

大洲市の公平委員会委員が昭和五十八年三月二十二日をもって任期満了となりますので、後任委員の選任について議会の同意を求めたものです。

新しい委員は次の三人です。

▼志田齊(蔵川、五十七歳)再

▼吉田利男(大洲、六十六歳)新

▼熊野良一(春賀、六十三歳)新

固定資産評価審査委員会委員の選任

大野光春委員が昭和五十八年三月二十五日をもって任期満了となるので、後任委員の選任について議会の同意を求めたものです。

▼大野光春(新谷、七十一歳)再

解説

昭和58年度の重点施策 肱川流域における拠点都市へ

施政方針の中にもありますように、大洲市は次の六項目を行政の重点施策として進めてまいります。

1、行財政の合理化と施策の重点的推進

臨調の最終答申をふまえて、国においても近く具体的な措置が進められる見込みです。今後、行政環境はさらに厳しくなります。

したがって、大洲市におきましても行財政の合理化に努め、健全財政を堅持しながら、的確な政策の選択と効率的な運営により、積極的な行政の展開を図ります。

また、昭和五十一年策定の「大洲市総合計画」により、長期的行政を推進してまいりましたが、計画目標年にあと二年を残すのみとなり、新たに昭和七十年を目標とする総合計画の策定に本年度より取りかかります。

2、肱川流域における拠点都市機能の充実

肱川流域の中心的都市である大洲市は、南予全域への玄関として陸上交通の要に位置しています。

市の発展は、拠点都市としての機能を充実、整備することにより可能ですが、このため、道路網の整備をより強力に推進いたします。

また、肱川流域の開発は、治水ならびに環境の整備が必要ですので、関係方面に積極的に働きかけ早期完成を目指します。同時に、肱川の持つ観光資源としての価値の向上に努めます。

3、地域特性と伝統をふまえた個性的な地域産業の形成

大洲市の地域産業の開発は、市民のみならずの自主的また開発的な力の結集により、農工商が連携を持ち込まれるとき、はじめて安定的な発展が可能です。

昨年発足した百人委員会、昨年の成果の上に立ち、今年度は具体的な方策を検討、提言をいたします。

大洲の基幹産業「農業」につきましては、内外の情勢は楽観できない状況にありますが、農業の本質をふまえた特色ある地域農業への基礎条件作りを進めます。

4、住みよい生活環境の整備

生活道路の整備については、地域の特長性もあり、特に配慮してきましたが、本年度も国・県の補助事業の積極的な推進をはかるとともに、第三次五か年整備計画に

基づく道路改良、舗装事業などについても重点的かつきめ細かい対策を行います。

このほか、下排水事業、地域改善対策事業、住宅対策につきましても力を注いでまいります。

5、健康であたたかい市民福祉の充実

何もものも代えがたい「健康」を守るため、保健センター、老人福祉センターを中心に、その機能の充実強化に努めていきます。

二月の老人保健法の施行にともない、この法の主旨を充分に生かし、四十歳以上の市民を対象に健康づくりのため総合的施策を実施いたします。

また、高齢化社会が進むなかで、おとしよりの生きがい対策も、老人福祉センターを中心に行います。

6、地域にねざした教育の充実と文化の向上

教育施設の整備については、他に優先して進めていますが、本年度も平野中学校の校舎増改築、南久米小学校屋内運動場の整備を計画しています。

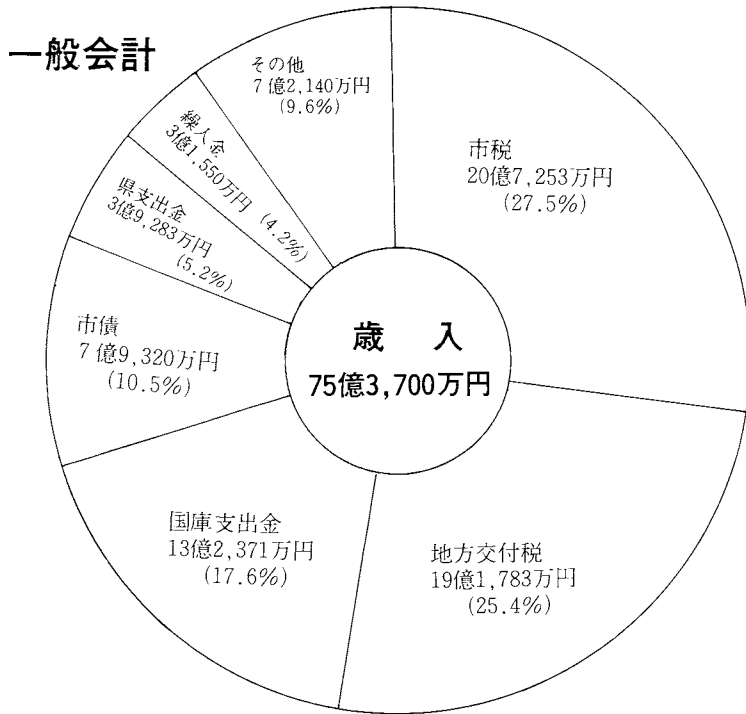
青少年の健全育成については、学校、家庭、社会、すべての人々が努力しなければなりません。子供に「豊かな心」を育てるための運動を家庭を中心に推進してまいります。

社会教育は、公民館を中心にコミュニティ活動と相まって一層の充実をはかります。

ある大洲市へ

大洲市当初予算

75億3,700万円



昭和58年度 特別会計 企業会計 予算の規模

会 計 別	昭和58年度当初予算額	伸び率(対前年比)
特別会計	国民健康保険	18億 5,801万円 △ 7.7%
	国民健康保険診療所	2,320万円 1.2%
	簡易水道	3,356万円 11.6%
	老人保険	15億 2,651万円 —
	と畜場	530万円 △ 1.7%
	交通傷害保障	678万円 0.4%
	土地取得造成	811万円 △ 0.3%
	住宅新築資金等貸付	1億 1,701万円 0.7%
	小計	35億 7,848万円 —
企業会計	水道	3億 4,790万円 △ 1.1%
	国民宿舎	1億 2,061万円 23.2%
	病院	10億 9,282万円 △ 1.3%
	工業用水	587万円 4.4%
	小計	15億 6,720万円 0.3%
合計	51億 4,568万円 —	

昭和58年 当初予算

総額 **126億 8,268万円**
(前年比15.5%増)

— 骨格予算 —

大洲市の昭和58年度当初予算は、一般会計、特別会計、企業会計を合わせて総額126億8,268万円です。前年度当初予算と比較して、17億200万円、15.5%の増です。

内訳は—

一般会計 75億3,700万円
特別会計 35億7,848万円
企業会計 15億6,720万円

計 126億8,268万円

合計額は大幅な伸びとなっていますが、これは、老人医療費の特殊要因によるものであります。

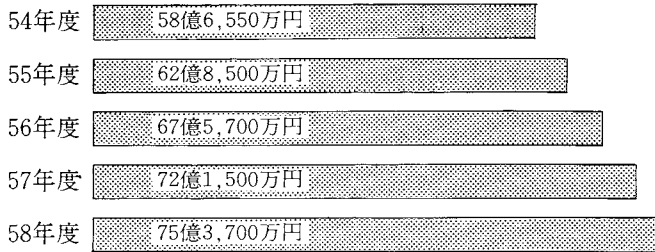
一般会計は、前年度に比べ3億2,200万円(4.5%)増となっています。国・県の補助金、市債などへの対応が不確定な状況にありますので、具体的施策につきましては財源の見通しを得て6月以降に予算措置を講じることとし、当初予算は、継続事業経常経費を中心とした骨格予算といたしました。財源につきましては、市税、地方交付税、地方譲与税など確実に見込める額を計上いたしました。

特別会計は、前年度に比べ13億7,529万円(62.4%)の増ですがこれは新たに老人保健特別会計が新設されたためであり、その要因を除くと前年度より減少した予算額となります。

企業会計は、前年度に比べ472万円(0.3%)の増となっています。

昭和58年度の財政環境は極めて厳しいものがありますが、財源の配分に配慮しつつ、健全な財政運営に努めてまいります。

一般会計 (当初予算の伸び)



豊かで活力

昭和58年度

一般会計

一般会計の概要

総務費

▼庁舎建設事業費今年度分として六億二千四百二十五万円。
▼勤労者住宅建設資金貸付制度預託金 一千万円。
※一般勤労者に対し住宅資金を融資するために、労働金庫に対して預託するものです。
▼集会所建設事業費 八百万円
▼交通安全対策費 ガードレール整備事業に七百二十万円、カーブミラー設置費に二百十五万円。

民生費

▼老人福祉費 敬老年金(八十歳

健康づくり推進事業に百六十七万円、国民

保健衛生費

以上)に六百二十五万円、老人健康管理物品給付(七十歳以上)に四百十万円、老人クラブ育成事業費に二百八十四万円。
▼同和对策費 地域改善対策特別事業に一億七千七百七十三万円、身体障害者福祉費 六千四百七十七万円。

農林水産費

▼農業振興費 三千五百六十六万円。百人委員会補助金に二百万円。
▼農業開発費 国営パイロット事業に千三百十八万円。
▼地籍調査費 上須戒、八多喜地区の国土調査費に二千五百六十六万円。
▼農業構造改善事業費 馬絡養蚕施設利用組合補助金に千五百九十九万円。

教育費

▼学校建設費 南久米屋内運動場建設費(六百八十平方メートル)に一億六千四百四十万円。平野中学校校舎新増築費(鉄筋コンクリート三階、千七百六十九平方メートル)に二億八千二百四十七万円。
▼公民館費 公民館活動補助金に十一館で千五百六十三万円。

特別会計・企業会計

▼農村総合整備モデル事業費 農業基盤(農道改良)に四千百万円。生産環境基盤(集落道路)に七千九百万円。
▼林業振興費 松くい虫跡地造林事業補助金に九百二十万円、打越林道開設事業に三千五百十万円。

土木費

▼道路維持費 原材料費一千万円。舗装補修事業に一千三百万円。
▼道路新設改良費 一億六千八百三十二万円。路線は根太山道還線、

市民道二十三号線、長谷梅川線。原材料支給舗装事業に千五百万円。
▼橋りょう新設改良費 峠橋橋りょう新設改良事業負担金に一億三千五百五十万円。
▼都市下水路費 五千四百六十四万円。地区は中村地区、上町地区などです。

一般会計構成比(款別)

款別	S 58年当初額	%
1 民生費	20億 267万円	26.6
2 総務費	12億 5,338万円	16.6
3 教育費	10億 5,409万円	14.0
4 公債費	9億 3,132万円	12.3
5 土木費	7億 2,246万円	9.6
6 農林水産業費	6億 9,113万円	9.2
7 衛生費	3億 7,447万円	5.0
8 消防費	1億 6,578万円	2.2
9 議会費	1億 3,479万円	1.8
10 その他	2億 691万円	2.7
合計	75億 3,700万円	100.0

国民宿舎事業会計

消防庁次長通達適合マーク確保により、防火施設改修に千九百万円。防火区画設置、天井張替などです。

水道事業会計

渡場地区水源池滅菌機取替に四百万円、水源池(菅田、新谷、能登)整備工事に二百五十万円。

老人保険特別会計

老人医療費などに十五億二千六百五十一万円。
▼住宅新築資金等貸付事業特別会計 住宅新築資金に三千七百二十万円、住宅改修資金に千五百万円、宅地取得資金に二千二百五十万円

昭和58年度市職員の人事異動

組織の活性化めざす

重点施策に対応する人事

大洲市は、四月一日付で百十一名の人事異動を発表しました。今回の異動の特色としては、能力主義の原則により、特に係長に若手有能職員を配置し、組織の活性化を目指しました。同時に、職員を適材適所に配置し、行政サービスの向上を図ります。

の組織の活用とあわせて、運動を強力に展開するため、行政組織の若返りを図りました。

機構としては、建設部に「特定事業班」を新設し、駅前再開発推進班は、都市整備課に吸収しました。

【課長級】▼総務財政課長 吉川德行(税務課長)▼会計課長 安藤昭(清和園長)▼税務課長 橋田輝雄(同和对策課長)▼同和对策課長○中野実(建設課主幹兼課長補佐)▼農業土木課長 石出正雄(都市整備課長)▼都市整備課長 富永昶(駅前再開発推進班長)▼清和園長○丹羽義和(福祉事務所次長兼援助第一係長)▼学校教育課長 中井義(県教委派遣)▼社会教育体育課長○松井要介(市民課長補佐兼戸籍係長)▼特定事業班主幹 西泉信男(建設部主幹)

重点施策の推進体制
①国・県事業の地元調整機能強化
大洲バイパス、高富川など幹線道路、肱川治水対策の地元調整業務を推進する特定事業班をおき、都市対策上の緊急事業の円滑な推進を図ります。

【課長級】▼総務財政課長 吉川德行(税務課長)▼会計課長 安藤昭(清和園長)▼税務課長 橋田輝雄(同和对策課長)▼同和对策課長○中野実(建設課主幹兼課長補佐)▼農業土木課長 石出正雄(都市整備課長)▼都市整備課長 富永昶(駅前再開発推進班長)▼清和園長○丹羽義和(福祉事務所次長兼援助第一係長)▼学校教育課長 中井義(県教委派遣)▼社会教育体育課長○松井要介(市民課長補佐兼戸籍係長)▼特定事業班主幹 西泉信男(建設部主幹)

②都市開発機能の充実
駅前再開発事業をはじめ、都市街路事業など都市基盤の整備に関する事業推進のため組織を充実強化しました。

【課長補佐級】▼税務課長補佐兼収納第一係長○柳野克己(税務課事務専門員兼収納第一係長)▼市民課長補佐兼戸籍係長○西山安俊(平野公民館事務専門員)▼老人福祉センター次長兼庶務係長兼保健センター次長兼予防係長○正月健一(中央公民館事務専門員)▼建設課長補佐○祖母井宗吉(八多喜公民館事務専門員)▼都市整備

③企画調整機能の充実
百人委員会の提言の具体化と昭和七十年を目標とする総合計画の策定作業を中心に企画調整機能の充実を図りました。

課長補佐兼都市開発第一係長○笠井俊郎(駅前再開発推進班事務専門員兼業務係長)▼大洲学園長補佐兼庶務係長○新多勉(建設課事務専門員兼管理第一係長)▼市長公室事務専門員兼給与係長○笹尾文保(市長公室給与係長)▼税務課事務専門員兼市民税第一係長○佐々木義夫(税務課市民税第一係長)▼建設課技術専門員兼土木第一係長○滝野満徳(建設課土木第一係長)▼建設課事務専門員兼管理第一係長○大野象一(都市整備課管理係長)▼都市整備課事務専門員兼管理係長○東孝志(市民課国民年金係長)▼八多喜公民館事務専門員 亀岡国泰(商工観光課事務専門員兼観光係長)▼肱北公民館事務専門員 寄町勇奇(社会教育体育課事務専門員兼社会教育係長)▼菅田公民館事務専門員○石間重利(菅田公民館係長)▼社会教育体育課事務専門員兼社会教育係長 富田重広(上須戒公民館事務専門員)

④青少年健全育成対策の強化
市の対策本部と地元推進協議会

【係長級】▼税務課収納第一係長 谷本秀男(大洲病院用度係長)▼税務課課固定資産税係長○上村孝広(総務財政課主査)▼税務課市民税第二係長○松岡良明(税務課)

市の対策本部と地元推進協議会

【係長級】▼税務課収納第一係長 谷本秀男(大洲病院用度係長)▼税務課課固定資産税係長○上村孝広(総務財政課主査)▼税務課市民税第二係長○松岡良明(税務課)

(肱北公民館係長)▼保健センター健康指導係長○上田孝子(八多喜連絡所)▼農業開発課営農係長 石川真彦(税務課固定資産税係長)▼商工観光課商工係長 大上孝一(大洲福祉会館指導係長)▼商工観光課観光係長○尾崎公男(農業開発課主査)▼都市整備課都市開発第二係長 小泉勝明(駅前再開発推進班計画係長)▼大洲病院局用度係長 西野茂一郎(農業開発課営農係長)▼建設部付業務係長○西山隆夫(建設課)▼大洲病院局放射線係長○小川陽一(大洲病院局)▼中央公民館係長○城戸秀光(福祉事務所主査)▼平野公民館係長○土井恒雄(都市整備課主査)▼大川公民館係長○三瀬正勝(福祉事務所主査)▼三善公民館係長○谷中猪喜男(農業開発課主査)▼上須戒公民館係長○二宮次夫(税務課主査)▼社会教育体育課 西岡正人(県教委派遣)▼総務財政課主査 長岡勝子(保険衛生課主査)▼市民課主査 松盛美智子(南久米保育所)▼同主査 中野臣(議会事務局主査)▼同主査 佐々木節子(大洲病院局主査)▼保険衛生課主査 津田豊子(市民課主査)▼福祉事務所主査 池田至子(税務課主査)▼農業土木課主査○口井陸雄(農業土木課)▼同主査○城戸良一(農業土木課)▼建設課主査○井上修一(建設課)▼都市整備課主査○矢畑満芳(都市整備課)▼大洲学園主査 池戸利徳(農業土木課主査)

【主事および主事補】▼総務財政課 篠原雅人(新規採用)▼税務課 川野広明(福祉事務所)▼同 沼田英輔(総務財政課)▼同 野浩司(新規採用)▼市民課 大藤美樹(同)▼福祉事務所 木戸高志(税務課)▼同 大野直(農業土木課)▼同 林田稔徳(新規採用)▼農業開発課 一宮隆久(福祉事務所)▼同 木藤幸治(新規採用)▼農業土木課 山下和広(新規採用)▼建設課 新穂哲徳(同)▼都市整備課 神元崇(水道課)▼同 青木優幸(建設課)▼同 栗田浩治(新規採用)▼徳森児童センター 井上利男(大洲病院局)▼福祉会館 沖水哲仁(税務課)▼議会事務局 松本幸子(市民課)▼大洲病院局 垣内哲(農業開発課)▼同 武田真彦(新規採用)▼同 村上洋康(同)▼水道課 中岡透至(社会教育体育課)▼同 西野利秋(新規採用)▼社会教育体育課 久保明敬(学校教育課)▼学校給食センター 山本稔(市民課)▼南久米連絡所 川脇由美(保健センター)▼八多喜連絡所 城戸千年(南久米連絡所)

保育所・幼稚園

▼南久米保育所主任保育母○小野三重子(大洲学園)▼大洲保育所 伊達とも子(新谷保育所)▼同 菊地安江(栗津保育所)▼同 亀井ひとみ(肱南保育所)▼同 玉井寿美子(同)▼肱南保育所 大

※に続く



国民医療費の現状

年間に一人12万円

— 増える国民医療費 —

あなたは、医療費を年間どのくらい使っているか。ご存知ですか。約十二万円——これが、昭和五十七年度（推定）の国民一人当たりの医療費です。わたしたちは、一月に一万円の割合で医療費を支払っていることになりました。

では、国民全体ではどのくらいになるかというと、五十五年度が十一兆九千八百億円、五十七年度は十三兆八千八百億円という巨額になると見込まれています。

昭和三十年度が二千四百億円で、五十五年度と比較すると、この二十五間に、なんと五十倍にもふくれあがったわけです。

その間、日本経済も世界に例をみない発展をとげ、その成長の度

合いを国民総生産（GNP）で見ると二十七倍ですから、いかに国民医療費が「高度成長」したかが分かります。

— 約九割は税金や保険料で —
年間一人当たり十二万円、国民全体では十四兆円近い医療費は、どのように賄われているのでしょうか。

医療費の大部分は医療保険システムから支払われており、わたしたちが病院の窓口で支払う金額は、

医療費の一角にしかなりません。

これは、わたしたちが、小さな負担で大きな価値の医療サービスを受けているわけです。しかし、だからと言って安心してはいられません。よく考えてみると、直接支払わない九割も、実は、わたしたちが毎月納める社会保険料や税金で賄われているのです。ですから、むやみに医者を代えたり、安易な気持ちで受診すると、結局わたしたち一人ひとりにそのツケが回ってくるわけです。

— 賢い患者で —

わが国の人口全体に占める六十五歳以上の割合は、昭和五十五年度が九・一％ですが、二十年后には一五・六％に増える見込みです。それにともない医療費も増大しま

す。さらに、年金受給者数も多くなることを考えると、医療と年金の両システムを円滑に機能させていくために必要なのはわたしたちの負担は、相当大きなものになります。将来のわたしたちの負担を適切な範囲に抑え、高齢化社会をスムーズに迎えるために、わたしたち一人ひとりが、健康の大切さをも一度よく考え、日ごろから健康づくりに努めること、そして、医療を受ける時にはできるだけ無駄のないよう心掛けていくことが必要です。

医療費の負担割合（昭和55年度）

公費負担部分 12.3%	保険者等負担部分 76.7% 健康保険等の医療保険の保険者(国、市町村、健康保険組合等の保険経営者)や国(国庫補助)が負担する医療費	患者負担部分 11.0%
-----------------	---	-----------------

医療保険システムの中で患者が医療機関の窓口で負担する医療費

＜資料＞厚生省「国民医療費推計」

- 野節子(大洲学園) ▼ 同 鈴木ま
- るみ(徳森保育所) ▼ 同 大山真
- 理子(喜多保育所) ▼ 喜多保育所
- 谷本絹子(粟津保育所) ▼ 同 池
- 田秀美(南久米保育所) ▼ 肱北保
- 育所 浅野小寿枝(徳森保育所)
- ▼ 同 三瀬喜代子(喜多保育所)
- ▼ 徳森保育所 窪田哲子(上須戒
- 保育所) ▼ 同 矢畑恵美子(喜多
- 保育所) ▼ 同 岡一栄(粟津保育
- 所) ▼ 南久米保育所 山本美恵子
- (大洲保育所) ▼ 菅田保育所 大
- 藤美代子(喜多保育所) ▼ 同 神
- 田真弓(大洲学園) ▼ 同 山元弥
- 栄子(大成保育所) ▼ 大成保育所
- 高橋玲子(徳森保育所) ▼ 柳沢保
- 育所 松田宏子(菅田保育所) ▼
- 新谷保育所 三井喜美(大洲学園)
- ▼ 同 後藤百合子(大洲保育所)
- ▼ 三善保育所 増岡典子(肱北保
- 育所) ▼ 同 東美栄子(大洲保育
- 所) ▼ 粟津保育所 井上日出子(
- 菅田保育所) ▼ 同 吉田葉子(大洲
- 保育所) ▼ 上須戒保育所 深井多
- 恵子(南久米保育所) ▼ 大洲学園
- 森岡孝江(柳沢保育所) ▼ 同 小
- 嶋弘子(肱南保育所) ▼ 同 西山
- 正千江(三善保育所) ▼ 同 村上
- 玲子(菅田保育所) ▼ 同 矢野笑
- 加(新谷保育所)
- ▼ 大洲幼稚園主任 菊池千代子(
- 喜多幼稚園主任) ▼ 喜多幼稚園主
- 任 木村由伎子(大洲幼稚園主任)
- ▼ 久米幼稚園主任 西田康子(平
- 野幼稚園主任) ▼ 平野幼稚園主任
- 松森節子(久米幼稚園主任) ▼ 喜
- 多幼稚園 久保歌子(久米幼稚園)

- ▼ 久米幼稚園 大西明子(平野幼
- 稚園) ▼ 平野幼稚園 石間峯子(
- 喜多幼稚園)

退職者

長い間くろくろさんでした。

- ▼ 松田幸良(大洲地区広域消防事
- 務組合消防長) ▼ 矢野孝行(会計
- 課長) ▼ 辻忠男(農業土木課長)
- ▼ 村本喜計(社会教育体育課長)
- ▼ 矢野広生(老人福祉センター次
- 長兼庶務係長兼保健センター次
- 長兼予防係長) ▼ 菊地勝己(大洲学
- 園長補佐兼庶務係長) ▼ 大谷光子
- (税務課事務専門員兼収納第二係
- 長) ▼ 中野清正(大川公民館事務
- 専門員) ▼ 政所暹(三善公民館事
- 務専門員) ▼ 石岡光子(保健セン
- ター健康指導係長) ▼ 寺本能雄(
- 水道課技師) ▼ 熊野節子(農業開
- 発課主査) ▼ 齊藤啓子(大洲病院
- 局)

心障児の

巡回就学相談

心身に障害をもつ就学前児童の保護者を対象に、県の主催で、巡回相談を実施します。

相談日 6月23日 中央公民館

申込み 5月20日までに

詳しくは市学校教育課に。

☎ 2111、☎ 47116

昭和58年消防出初め式 防火・消防に決意も新た

昭和五十八年大洲市消防出初め式は、天候に恵まれた三月六日、午前九時から肱川緑地公園で行われました。

式には、市消防団十分団、二つの私設消防隊、消防本部職員など九百人が参加しました。日頃、大洲市の防火、消防のために努力している参加者は、市民の生命、財産を守るために決意を新たにしました。

整然とした入場が続いて、服装点検、機械器具点検が行われ、各分団によるポンプ操法の演習が実施されました。この後、消防活動に功労のあった団員など百五十八人に表彰状、感謝状が贈呈されま

した。

最後に、最新の消火機材を使った消火演習が大洲消防署職員によって行われ、そして、消防団員により、肱川へ向けての一斉放水が始まると、見物の人々から大きな拍手と歓声があがっていました。

当日表彰を受けた人は、次のとおりです。(敬称略)

消防庁長官表彰

〈永年勤続功労章〉 池田利徳
〈功績章〉 梅林説夫
〈功績章〉 岩田重喜
〈勤続章〉 新多鉄男

大洲市長表彰
高岡貴幸 永見喜平治 中田繁則
別宮邦夫 山本善和 三好 康
西野洋一 中居 均 中田 稔
松平忠 末廣永行 佐々木富士重
久保田徳光 森本信久 片山好夫
久保田英明 富永輝明 大森賢一
松本 勇 二宮正夫 谷井政勝
山名敏春 山口光信 中川元男
田中 健 竹田正一 高岡利夫
梅岡芳夫 窪田亀一 矢野治夫



愛媛県知事表彰

〈功労章〉 富永千敏 成川正和
保積昭美 西岡出留 山鬼守平
愛媛県消防協会会長表彰

〈功績章〉 梶谷甚吾
〈勤続章〉 二宮 壯 三好 讓 谷岡一博

松岡 實
井上勝 朝日登司光 梶原敬一郎
岩田 昇 矢野光輝 西山隆重
上田和孝 高崎 昇 大川忠信
西山義廣 東 貢 都築徳衛
▼十年 山内 優 成出碩美
木下鉄雄 松本正一 久保英男
鳴滝勝明 藤本一美 石本 満
松岡貞義 鶴岡熊一 池田兄一
森永節 瀧本亀六 宇都宮庄次郎
大塚満男 都築秀雄 岡本文克

大塚満男 都築秀雄 岡本文克
〈規律章〉 兒玉光弘 祖母井勉
岡田安弘 富永 忠 普見幸男

大洲市長表彰
高岡貴幸 永見喜平治 中田繁則
別宮邦夫 山本善和 三好 康
西野洋一 中居 均 中田 稔
松平忠 末廣永行 佐々木富士重
久保田徳光 森本信久 片山好夫
久保田英明 富永輝明 大森賢一
松本 勇 二宮正夫 谷井政勝
山名敏春 山口光信 中川元男
田中 健 竹田正一 高岡利夫
梅岡芳夫 窪田亀一 矢野治夫

土居教敏 森 太祐 岡崎武彦
須内國昭 栗田和年 増田雅史
本川耕一
大洲喜多消防団連合会長表彰

〈規律章〉 羽柴忠幸 山中節男
藤本恵三 三浦弘光 竹田吉明
岡本茂生 大塚博則 本川正光
〈勤続章〉 柿見純一 上野源三郎

大洲市消防団長表彰
後藤幸恵 寺岡道康 今岡 功
大島孝文 武田和敬 増田和男
大野敏雄 尾崎 繁 池端 隆
山本昭文 白石春義 岡田悦郎
上田篤茂 玉木猪久男 北野章
岡田一郎 金野 功 宇都宮隆
小田英文 上甲清行 谷本秀男
松浦 聡 大門克好 中野好明
小嶋良典 高本理幹 肱川和男
宮川一雄 西岡 進 栗田義久
小西忠重 石岡猶一 宮岡隆重
山田富夫 坂本龍雄 泉 正明
橋本英司 佐古 勇 佐野正章
徳田善則 都築喜八郎 西田豊
岩城廣幸 佐川修一

愛媛県消防協会長感謝状
〈消防団員家族内助の功労者〉
上甲久子 高本ツヤコ 西村静枝
沼田ノブ子 沖中フサ子 池田和子

大洲市長感謝状
〈消防施設用地無償提供〉
武嶋多久馬 宮本武稔 蔵田登
村島地区 宮野地区 小川幸男
武知弘文 渡辺 栄 松山廣志
久保松記

〈高額寄付〉 谷本永年 矢野寧助
西川茂歳 新谷公益会

昭和58年度の 統計調査

昭和五十八年度には、三つの統計調査が実施されます。

- (1) 住宅統計調査(十月実施)住宅事情の実態調査
- (2) 第七次漁業センサス(十一月実施)水産業についての調査
- (3) 工業統計およびエネルギー消費構造統計調査(十二月実施)工業の生産およびエネルギーの需給についての調査。

この三つの調査は、市民のみなさんの日常生活の身近な問題や経済の好不況に対して、行政が短期的、長期的政策の資料となり、住み良い街を作る一助となります。そのためにも、みなさんのご協力をお願いいたします。

詳しくは、総務財政課統計係にお問い合わせください。
☎2111内線260

五月は

赤十字運動月間

五月は赤十字運動月間です。月間中に社員増強、社資募集運動を展開いたしますので、みなさんのご協力をお願いいたします。

同和教育 シリーズ

No.56

みんなのしあわせを願って

⑫ 同和教育のすすめ方

(1) 学校教育では(下)

誰でも差別は許せないことだと
言います。しかし、現実の生活の
中には差別が存在しています。言
っていることとして、言っていること
が矛盾しているのです。

人権尊重がきれいごとのためま
え論に終わったのでは、差別の解
消はできません。

学校では、人権尊重の指導が抽
象的・観念的なものにならないよ
う特に留意し、教材の中に、生活
と結びついた差別の具体的事例を
とりあげ、その不当性・非人間性
を学びとらせるなど、差別は許せ
ないという心情と、差別を排除・
克服する実践力を養うよう努力し
ています。

このように、保育所から高等学
校まで、それぞれの発達段階に応
じて、すべての教育活動の中で、
意図的・計画的に人権尊重の指導
を行って人権思想の確立を目指し
ています。

同和教育を今もなお未解決のま
ま残してきた理由のひとつに、対
象地域について誤った伝承があげ
られます。対象地域の人は異人種
だ、いやしい職業にたずさわった
人だなど、差別されてもしかたが
ないという誤った考えがあること
です。

同和教育を解決するためには、

部落の歴史を正しくとらえ、部落
差別の不合理さを認識して、誤っ
た考えを打ち砕いていくことも重
要なことです。

今まで、義務教育である小・中
学校では、この問題にはあまりふ
れませんでした。しかし、同和教育
が進み、人権意識の確立をめざ
す動きの中で、同和教育が教科書
にのり、小・中学校でも取り上げ
られるようになりました。

小学校では昭和四十九年から、
中学校では昭和五十年から、社会
科の教科書に同和教育が記述され
日本全国の小・中学生は、部落の
起源・人権確立の歩み、同和教育
の展望などについて、地域の実態
子供の実態に応じて学習すること
になったのです。

同和教育の学習は、人権尊重の
意識が不十分な学級や学校、対象
地域についての誤った伝承や差別
意識が生きている地域の中で行わ
れると、差別解消どころか、差別
の再生産になって、差別につなが
る恐れも出てきます。

したがって、学校では、地域の
人々が同和教育について正しく認
識し、子供の学習を支えていただ
くよう期待すると同時に、人権尊
重の立場から学校の営みを自ら厳
しく点検しながら、この問題に対

処しています。

点検事項

- ア、全職員が同和教育を認識し、
共通理解のもとで同和教育に取
り組んでいるか。
 - イ、人権意識の定着化を意図し、
授業の中でどう実践しているか。
 - ウ、差別の具体的事実を取り上げ
て指導し、連帯感の重要性を強
調しているか。
 - エ、子供の悩みや願いを正しく把
握しているか。
 - オ、子供の悩みや願いの解決に努
力しているか。
 - カ、みんなにわかる授業の創造に
努めているか。
 - キ、みんなから取り残されがちな
子を励まし援助しているか。
 - ク、指導する姿勢に、差別を助長
するような態度はないか。
 - ケ、言っていること、しているこ
とに矛盾はないか。
 - コ、地域の人々の協力は得られて
いるか。
- 差別の現実から学び、子供や学
校や地域がかかえている教育上の
問題点にこたえていく教育こそ、
学校における同和教育の進め方な
のです。(つづく)



市立大洲病院に

頭部X線断層装置を導入



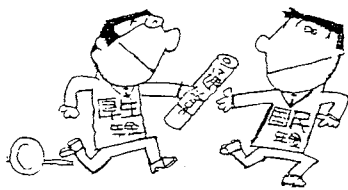
市立大洲病院では、市民のみな
さんへの医療サービス体制の向上
を年々図っています。

昭和五十七年度事業としては、
頭頸(けい)部用X線断層装置を
導入いたしました。この装置は、
一断面を透過したX線の量を測定
し、コンピュータで処理して頭や
首の一横断面を影像化するもので
す。頭部腫瘍(しゅよう)、脳動
脈硬化などの精密で高度な診断の
一助となります。

この装置は総工費、千五百五十
万円で設置され、起債事業で全額
年金還元融資によるものです。
これによる検診は、四月一日よ
り実施されています。

国民年金の知識

勤めをやめたら 国民年金へ



国民年金に加入すると、今まで
加入していた厚生年金などとな
がって、老後にそれぞれの制度か
ら老齢(通算)年金が受けられま
す。

もし、加入しないしていると、年
金を受けられなくなるばかりか、
掛けた保険料も無駄になることが
あります。老後の生活設計を大切
にするためにも、ぜひ国民年金に
加入しましょう。

奥さんも国民年金に加入してい
なければ、一緒に手続きをしてく
ださい。

詳しくは、市民課国民年金係へ
お問い合わせください。

☎④2111内線295

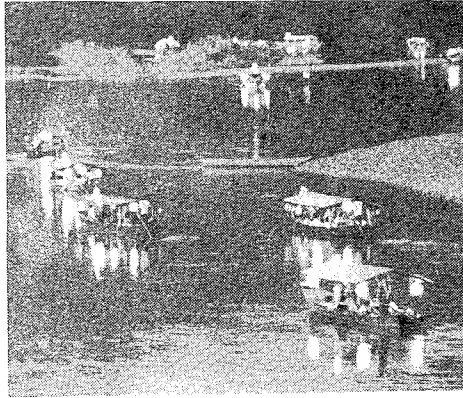
二十歳から五十九歳までに会社
などをやめた人は、国民年金に加
入しましょう。

市民のひろば



5月3日
憲法記念日

観光大洲写真コンテスト 年間最優秀に 日野さん



日野さんの“肱川暮色”

四季それぞれの大洲の風情を写す“観光大洲写真コンテスト”に、多数の作品を応募していただき、厚くお礼を申し上げます。
最後の“冬の部”の入賞者は次のとおりです。

また、年間を通じての最優秀、準優秀、第二位とも菅田の日野正範さんが独占しました。

冬の部入賞者（敬称略）

推選 日野正範（菅田）

特選 渡辺真一（八幡浜）

入選 河野由敬（若宮）

佳作 新幸則（菅田）、笠井俊郎（杣木）、河野由敬（若宮）

年間賞

最優秀 日野正範 “肱川暮色”

準優秀 “雪の臥龍山荘”

第三位 “大洲のいもたき”

年間の優秀作品二十六点は、大洲電報電話局営業窓口ロビーで四月二十日まで展示され好評でした。

星の輝きがすばらしいですね

大川・志茂 沖野 恭子さん（25）

奥さん訪問

No.23

～星の輝き～

▼広島県広島市の生まれです。市の中心部で育ちました。

▼街の中で生まれ育ったためか、自然に囲まれた大洲の良さを痛感します。街に比べれば少し寂しい気もしますが、それ以上に緑があり、おいしい空気がいいですね。

▼子供は長男の克茂（一歳）の一人だけですが、もう一人女の子が

▼最も印象深いのは、スモッグの街から大洲に来て、夜空を見上げ

ると、小さな星までハッキリと輝きが見えることです。

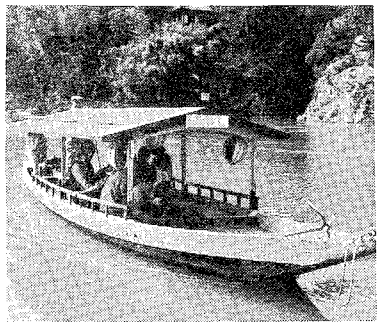
▼母が農業をしていますので、一年間その手伝いをしてみて、一粒の米の価値がわかりました。

▼商店街と病院が少し遠いのが不便ですね。

▼小田川と肱川合流点の風景は毎日見てもあきません。

▼主人は仕事がいそがしいようですが、家庭サービスももう少しして欲しいですね。

臥龍山荘への 渡し舟開始



如法寺河原と臥龍山荘を結ぶ渡し舟が四月三日から運行を始めました。期間は十月末日までです。運行は毎日曜日と祝日の午前十時から四時までです。団体に限り予約があればウィークデーでも運行します。料金は大人五十円、子供三十円です。

お問い合わせは市観光協会へ

☎2664

新刊図書紹介

哲学の復興 梅原 猛著

骨から見た日本人のルーツ 鈴木 尚著

設例民法教室Ⅰ～Ⅲ井口 茂著

憲法教室 長尾一紘著

教育とは何かを問いつづけて 大田 善著

中学生時代 林友三郎著

点字と朗読への招待 福村出版

日本民俗文化大系3 小学館

ピグミーチンパンジー

嫌煙権を考える 黒田未寿著

宇宙からの帰還 伊佐山芳郎著

林業経済論 立花 隆著

着想の技術 農文協

湖底の光芒 筒井康隆著

麗しき白骨 松本清張著

だじょうぶマイ・フレンド 渡辺淳一著

よいいドン(1)・(2) 村上 龍著

12のアップルパイ 杉山義法著

ヴィレッジに雨 立風書房

古い記憶の井戸 山本道子著

いばるな亭主 本田秋五著

のらくろひとりぼっち 和田美佐保著

シャーロック・ホームズの生れた家 高見澤潤子著

PHOTOGRAPH プリンツ R・ピアール著

愛媛県の昭和史 毎日新聞社

読売年鑑一九八三年読売新聞社

図書館

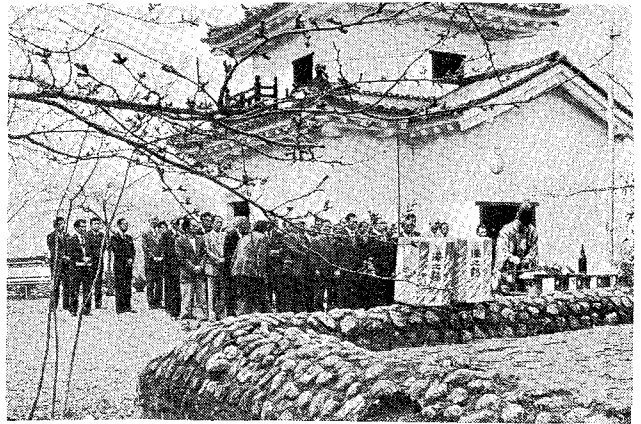


長男の勝茂くんと

▼桜まつり剣道大会

4月3日に肱川緑地公園で第3回桜まつり剣道大会が開かれました。小学生の豆剣士13チーム110人が参加し、熱戦が繰り広げられました。優勝は次のとおりです。

▽小学校団体・低学年 平剣道スポーツ少年団A
▽同・高学年 菅田スポーツ少年団A



▲桜まつり市内各地で

3月28日に開幕した桜まつりは、桜の開花とともに市内各地でにぎわいを見せました。4月3日の日曜日には、城山公園や富士山の桜の木の下でお弁当を広げる家族づれでにぎわいを見せました。

▼大洲高美術部の作品展

県立大洲高美術部（部員36人）の初の校外展が3月19日から中央公民館で開かれました。

部活動を通して得た成果を発表しようと準備を進め、3号から50号までの力作74点が展示され、訪れた人々に好評を得ていました。



▲肱北公民館でロビー展

肱北地区サークルの1年間活動の成果を展示する第3回ロビー展が3月11、12日の両日肱北公民館で行われました。

肱北各地区の婦人会などが、生け花、手芸作品などを展示し、両日も見物客でにぎわいました。

3月末までの
大洲市内の交通事故

	3月末 現在	昨年 同期	年 期
件数	34	29	
負傷者	41	47	
死者	2	1	

春の交通安全運動
5月11日～5月20日
子供やお年寄りの交通事故防止などを重点目標に、「春の交通安全運動」を五月十一日から十日間実施いたします。

市立病院に
五月より

眼科を開設

市民のみなさんから強い要望のあった眼科を市立大洲病院に設置することになりました。

五月二日（月）より、毎週月曜日に診療にあたることになりました。当面は、週一回の診療です。

診療は、愛媛大学医学部眼科の白石素子先生があたります。受付時間は午前八時二十分から十一時三十分までです。詳しくは、市立大洲病院にお問い合わせください。
☎42151

保健センターだより

☎43775

乳幼児
検診



実施日 該当者

- 5月10日(火) 昭和57年9月生※
- 5月12日(木) 昭和56年10月生
- 5月17日(火) 昭和57年6月生
- 5月24日(火) 昭和55年4月生
- 5月31日(火) 未受診者

※は肱南・肱北地区のみ

受付時間 13時30分～14時
実施場所 大洲市保健センター
持参品 母子健康手帳

ポリオ
ワクチン



小児マヒ予防の経口ポリオワクチンの投与を次の日程で実施します。

このワクチンは、生後二か月か

ら四十八か月(できるだけ十八か月までが望ましい)の間に二回飲みます。完全に免疫をつくるために必ず二回受けてください。

対象者(次の期間に生まれた人)

- 一回目 昭和57年7月1日から昭和58年1月31日まで
- 二回目 昭和57年2月1日から昭和57年6月30日まで

・昭和54年4月以降に生まれた人
でまだ投与を受けていない人

料金 無料

日程 5月25日 連絡所管内分
5月26日 旧大洲町分

時間 13時30分～14時

場所 大洲市保健センター

※母子手帳をご持参ください。

母親
学級



初めて妊娠されたお母さんに対して実施していますので、対象の

人はご参加ください。

日程 5月13日 妊娠中の保健

5月27日 妊娠中の栄養と歯

6月10日 お産の準備と経過

6月24日 乳児の保健、沐浴実習

7月8日 産後の保健、家族計画

時間と料金 13時～15時、五百円

場所 大洲市保健センター

休日急患診療

5月1日 大洲中央病院

5月3日 市立大洲病院

5月5日 大洲中央病院

5月8日 大洲中央病院

5月15日 大洲中央病院

5月22日 大洲中央病院

5月29日 大洲中央病院

6月5日 大洲中央病院

まごころの
おくりもの



- 金一封 北只 三好 謙
- 金一封 大洲 中岡 一幸
- 金一封 大洲 尾崎 千里
- 金一封 上須戒 楠田 要
- 金一封 若宮 政所 義之
- 金一封(寄付金) 東大洲 大洲隣保館人形教室(代) 中井敏子(指定配分)
- 金一封(ロビー) 展チャリテイー 収益金を肱北地区社協へ)
- 公民館七宝焼教室(代) 阿武恵子
- 金一封(ロビー) 展チャリテイー 収益金を喜多地区社協へ)
- 民館料理教室(代) 稲沢美智子(物品の口座)
- 一、手作りのお手玉 二百一十七個を大洲学園へ 大洲市連合婦人会(代) 渡部みね子

温かい善意をありがとうございます。感謝をこめて掲載させていただきます。

大洲市社会福祉協議会

相談ごと案内

いずれも無料ですので、お気軽にご利用ください。

▶交通事故相談

とき 5月9日 10時～15時
5月20日
ところ 市役所第三会議室

▶人権相談

とき 5月20日 13時～16時
ところ 社会福祉協議会事務局

▶心配ごと相談

とき 5月2日 13時～16時
5月10日
5月25日
ところ 社会福祉協議会事務局

▶家庭児童相談

とき 毎日の執務時間中
ところ 大洲市福祉事務所

▶行政相談

とき 5月17日 10時～15時
ところ 中央公民館
急がれる時は電話で相談してください。☎④3794(玉木)

▶社会保険相談

とき 5月23日 10時～16時
ところ 大洲商工会議所
担当 松山社会保険事務所

▶医師による健康相談

とき 毎月第2・4木曜日
9時～16時
ところ 大洲市保健センター
対象 40歳以上の人

▶何でも相談

とき 毎日の執務時間中
ところ 大洲隣保館(東大洲☎④6100)、大洲福祉会館(新谷☎⑤0947)
内容 住民福祉に関し、生活上の悩み、人権、交通事故、その他何でも。



水道
メーターは
きれいですか

水道のメーターはどこにあるか知っていますか? メーターボックス内は意外に汚れているものです。大切な水がそんな所を通るのは気持ち悪いものではありません。時々、メーターのそうじをするようにしましょう。

休日の漏水修理 (8:30~17:00)		
月日	当番業者	☎
5月1日	蔵田水道店	4-5968
5月3日	清水水道商会	4-6232
5月5日	滝田水道店	5-0901
5月8日	榑土居鉄工所	4-4519
5月15日	中野管工事工業	4-3792
5月22日	南予水道住設	4-4577
5月29日	浜田ポンプ店	4-3086

後記

GNP伸び率の二倍もの高度成長をとげた国民医療費。そのツケはわたしたちに返って来るのです。健康は、国のものでなく、わたしたち一人ひとりのものです。医療費の減少も大切ですが、健康を大切にしたいものです。(や)